



1986～'87年度

地区委員会  
活動報告書

ガバナー 坂 東 宏

1987年 4月 18日 (土)

於：大阪薬業年金会館

国際ロータリー第266地区  
新旧合同地区委員長会議

[1986～'87年度・1987～'88年度]





M.A.T.カパラス(M.A.T.CAPARAS)  
1986~'87年度国際ロータリー会長  
フィリピン、マニラ・ロータリー・クラブ会員

### ロータリアンの皆さん：

私達が友情を求めて入会したロータリーは大きな躍動的な力です。ロータリーは、さまざまな形の奉仕を通じて、80年以上にわたって、貧しき人、障害のある人、失意の人の生活に手をさし伸べてまいりました。多くの時と場所で、ロータリーは、飢えたる人にとって食糧であり、渴きに苦しむ人にとって貴い清浄な水であり、幼児にとって健全な未来であり、孤独な人にとって慰めであり、若い人にとってより輝ける幸せな世界であり、人生のたそがれにある人にとって光を与える存在でありました。かくして、ロータリーは、世界の多くの人々に対し、自分や子供達の生活向上の夢が、今まさに、遠からず実現されるだろう、と輝かしくすみずみまで届く希望の光となりました。

ロータリーは、クラブの親睦の中に生まれ、職業奉仕にはぐくまれ、社会奉仕で前進し、国際奉仕を通じて発展しましたが、よりよい明日を目ざすこの希望を全人類に分ち合うばかりでなく、100万会員の理想と行動を通じ

て希望を実現するよう力を尽くしています。さまざまな国で、さまざまな生活環境の中で奉仕するロータリアンはこの希望を、数多くの奉仕という形で表しています——それを求めているすべての人々が理解できるような形、また絶望のふちに立つ人々をさえ奮い立たせるような形の奉仕であります。

私達はさまざまな国から集まっています。言語も文化も異なります。宗教も多種多様です。しかし、それにもかかわらず、私達ロータリアンは、平和への希望において、また、すべての人々のよりよい生活を追求する上において、一つに結ばれています。多様性の中の調和と言ってもよいでしょう——背景や行動様式は異なっても調和があります。同胞に奉仕する方法は一様ではありませんが目的は一つです。私達は、私達の努力を受け継ぎ、希望をはぐくみ、それを実現する後継者のロータリアンと結ばれているように、平和な世界のよりよい生活の希望の灯をともした過去のロータリアンとも奉仕を通じて結ばれています。

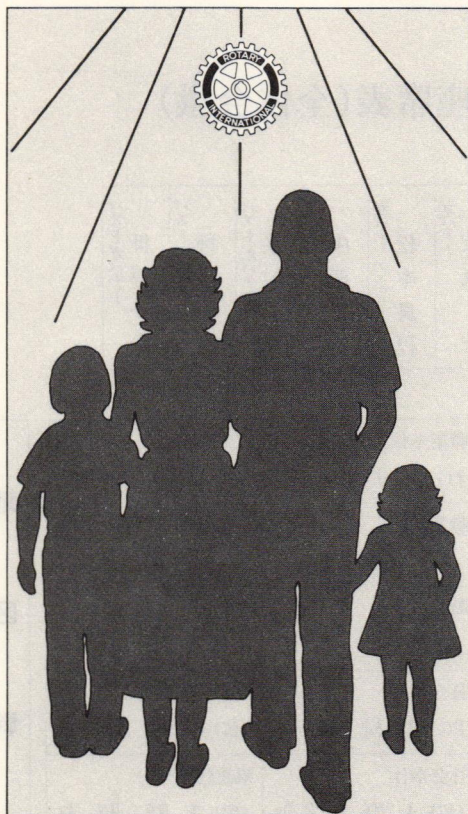
ある賢者が言いました。「英知は希望によって測られる」と。さあ、いかなる希望を与えるかによって私達を見てもらいましょう。ロータリーのいう奉仕に積極的に献身し、ロータリーの組織を最大限に活用しましょう。そうすれば世界の人々は間違いなくこう言うでしょう——「ロータリーは希望をもたらす」。

敬 具

M.A.T.カパラス

1986~'87年度 国際ロータリー会長





# ロータリーは 希望をもたらす

1986~'87年度  
国際ロータリーのテーマ

**ROTARY BRINGS HOPE**

M.A.T.カバラス

1986~'87年度 国際ロータリー会長

## 目 次

座 席 表

プログラム	3
地区ガバナー指名委員会	4
意義ある業績賞委員会	4
<b>クラブ奉仕部門</b>	
会員増強委員会	6
広報・雑誌委員会	7
規定情報委員会	8
<b>拡大部門</b>	
拡大委員会	10
<b>職業奉仕部門</b>	
職業奉仕委員会	11
<b>社会奉仕部門</b>	
社会奉仕委員会	13

### 青少年奉仕部門

青少年活動委員会	16
ローターアクト委員会	17
インターアクト委員会	19

### 国際奉仕部門

世界社会奉仕委員会	21
青少年交換委員会	22
米山奨学委員会	26
国際交流委員会	27

### ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会	29
財団増進委員会	29
財団奨学金委員会	31
研究グループ交換委員会	34
財団学友委員会	38

ロータリーの友	39
地区年次大会	40
地区財務委員会	42
財務諸表	42



# 新旧合同地区委員長会議座席表(全体会議)

進行 田中和一郎	パストガバナー 中村俊一	パストガバナー 戸田孝	パストガバナー 伊瀬芳吉	ガバナー/ミニ 古田敬三	ガバナー 坂東宏	ガバナー/ミニ 松本良諄	直前ガバナー 中西正二	パストガバナー 峯村英薫	パストガバナー 種田憲次	パストガバナー 世戸一夫
-------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------

次 期 地 区 幹 事	青少年奉仕 PG. 種田 憲次	国際奉仕 PG. 伊瀬 芳吉	A ↑ D ↓ B ↑ C ↓	職業奉仕 PG. 世戸 一夫	クラブ奉仕 直前 中西 正二 PG.	地 区 幹 事
	青少年奉仕アドバイザー 橋本 憲之	世界社会奉仕 増田 鼎		職業奉仕 大西 淳	会員増強 小松 英二	
	青少年活動 (留) 諏訪 正美	世界社会奉仕 (新) 宮田 宏章		職業奉仕 (新) 常持 敦	会員増強 (新) 八田 昌三	
	ローターアクト 飯原 弘章	青少年交換 (留) 入江 和夫		社会奉仕 PG. 中村 俊一	広報・雑誌 (留) 中村 覚	
	ローターアクト (新) 目幸 等僊	米山奨学 木梨 正夫		社会奉仕 (留) 永野 啓之介	規定情報 (留) 吉野 昭夫	
	インターアクト 平岡 龍人	米山奨学 (新) 中川 藤一		緑化推進 (新) 圓井 東一	拡大 小林 林之助	
	インターアクト (新) 二宮 正彦	国際交流 山田 重迪		財務 金子 義高	拡大 (新) 北野 清	
	財団増進 山田 和義	国際交流 (新) 稲本 晃		財務 (新) 竹内 貢	ロータリーの友 今井 悠紀	
	財団増進 (新) 大社 照史	財団学友 田中 穰二		会計 井上 陽二	ロータリーの友 (新) 伊藤 徳次郎	
	財団奨学金 (留) 白羽弥右衛門	財団学友 (新) 中田 康仁		会計 (新) 袴田 哲	年次大会委員長 名張 隆政	
	研究グループ交換 木川 稔	ポリオ担当(増進) 坂口 勇		年次大会幹事 矢橋 繁雄	年次大会プログラム 福田 耕作	
	研究グループ交換 (新) 木村 英一	ポリオ担当(増進) (新) 山中文和		年次大会幹事 (新) 大谷 國明	年次大会委員長 (新) 牧野 耕二	
					年次大会プログラム (新) 松井 弥之助	

\* グループ別会議

A・Bグループ…401, 402号室 Cグループ…507号室 Dグループ…405号室



国際ロータリー第266地区  
1986～87年度 新旧合同地区委員長会議  
1987～88年度  
プログラム

昭和62年4月18日(土) 14:00～

於：大阪薬業年金会館 401・402号室

進行：代表地区幹事 田中 和一郎

- 14:00 開 会 点 鐘 ガバナー 坂 東 宏
- 14:00～14:30 ロータリーソング「奉仕の理想」  
挨拶、参加者、委員長紹介 ガバナー 坂 東 宏  
次期委員長の紹介 ガバナー・ノミニー 松 本 良 諄
- 14:30～14:50 全 体 会 議  
地区指名委員会 パスト・ガバナー 中 西 正 二  
意義ある業績賞委員会 パスト・ガバナー 中 西 正 二
- 14:50～15:10 ————— 休憩・会場移動 —————
- 15:10～16:20 グループ別会議  
Aグループ 中西パスト・ガバナー クラブ奉仕  
拡 大  
世戸パスト・ガバナー 職 業 奉 仕  
中村パスト・ガバナー 社 会 奉 仕  
Bグループ 種田パスト・ガバナー 青少年奉仕  
伊瀬パスト・ガバナー 国 際 奉 仕  
Cグループ 戸田パスト・ガバナー ロータリー財団  
Dグループ 坂東ガバナー 財務、地区大会、ロータリーの友
- 16:20～16:40 ————— 休憩・会場移動 —————
- 16:40～17:10 全 体 会 議  
財務、地区大会、ロータリーの友
- 17:10～17:20 謝 辞 ガバナー・ノミニー 松 本 良 諄  
ロータリーソング「手に手つないで」
- 17:20 閉 会 点 鐘 ガバナー・ノミニー 松 本 良 諄



## 地区ガバナー指名委員会

委員長	中西 正二 (大阪西)	委員	菅生 謙三 (大阪北)
委員	伊藤 恭一 (大阪)	同	伊瀬 芳吉 (池田)
同	原田 秀雄 (大阪北)	同	種田 憲次 (大阪住吉)
同	田宮 佐 (高槻)	同	戸田 孝 (八尾)
同	峯村 英薫 (大阪東)	同	世戸 一夫 (大阪難波)
同	平井 常次郎 (大阪南)	同	中村 俊一 (東大阪)

1988～'89年度ガバナー・ノミニーの選出については、指名委員会の名において、ガバナー月信第3号(1986.9.1発行)で、クラブが希望するならば当委員会の審議を受ける為、地区ガバナー指名案を提出するよう要請致しました。地区ガバナーの定めた10月25日の期日までに本委員会に提案が受理されませんでしたので、10月27日ガバナー事務所に於いて委員会を開催、慎重審議の結果全員一致を以って大阪ロータリークラブの会員古田敬三君を1988～'89年度第266地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定致しました。

## 意義ある業績賞委員会

委員長	中西 正二 (大阪西)
委員	中村 俊一 (東大阪)
同	世戸 一夫 (大阪難波)

1986年11月27日、阪神百貨店事務所に於いて本委員会を開き、申請のあった3件について審査を行った結果、全員一致して下記の通り受賞候補クラブを選び、これを地区ガバナーに送達致しました。

### ◎1986～'87年度「意義ある業績賞」

(R.I.会長表彰)受賞候補クラブ

豊中南ロータリークラブ

豊中市制施行50周年を記念して「輝きの塔」(時計塔とタイムカプセル)を設置し青少年健全育成の為の事業を行った。又本事業実施に当っては姉妹クラブである大韓民国梁山ロータリークラブ並びに中華民国台湾省台北士林ロータリークラブの協



賛を得、国際友好親善にも貢献した。その上この機会に大韓民国梁山女子総合高等学校I.A.C.会員の訪日招請を行い渡航上幾多の困難を克服して実現、青少年を通じて国際理解に役立てた。

◎1986～'87年度「準意義ある業績賞」

(ガバナー表彰)受賞候補クラブ

高槻東ロータリークラブ

7月と8月の2か月に亘り、青少年対象にテントの貸出しを行い、青少年活動の健全化に貢献した。

大阪平野ロータリークラブ

寝たきり独居老人を友愛訪問し、単に贈り物の贈呈に止まらず、話し相手となり、力づけ、激励を行った。又老人の為のゲートボール大会を催して、その健康保持と相互の親睦増進に寄与した。



## クラブ奉仕部門

担当パスト・ガバナー 中西 正二 (大阪西)

### 会員増強委員会

委員長 小松 英二 (大阪北)

委員 岡部 次郎 (箕 面)

同 田中 光雄 (八 尾)

同 和田 俊一 (大阪平野)

同 八田 昌三 (豊中南)

1. 昭和61年7月3日に開催された会員増強東京セミナーに参加しましたが、主要内容は、
  - A. 各地区代表の報告に依れば、円高デフレ、産業構造の変化等に依り一部地区では会員増強が難渋している。
  - B. 又会員増強の手法について説明、指導がありましたが、大体当地区で行われている状況と大同小異でありました。
2. 1986年10月に地区内64クラブを対照に会員増強についてのアンケートを実施し、其の内の要点を集計し、ガバナー月信(No.6)に掲載しました。
3. 地区内64クラブの会員増強委員長セミナーを、昭和61年10月17日に薬業年金会館に於て開催致しました。

出席者は坂東ガバナー、担当中西直前ガバナー、松本ガバナー・ノミニー、木村地区幹事、地区会員増強委員長並びに委員計5名、規定情報委員長。各クラブ代表64クラブ中54クラブ出席。
4. 会員数50名未満のクラブの内、希望のあった各クラブを地区会員増強委員長並びに委員が分担して訪問し、当該クラブの問題点及び増強に関し例会前に会長、幹事、会員増強委員長等、関係各位と懇談し、例会の時間を会員増強フォーラムに当てて頂きました。
5. 昭和62年4月11日の地区年次大会部門別協議会のテーマとして会員増強をとりあげ、バズセッション方式に依り協議致しました。
6. 残余期間の活動について  
各クラブ共会員増強につきましては充分認識頂いておりますので推移を見守ること



とし、各クラブよりご照会、ご相談、ご提言等があれば対応することと致します。

## 7. 次年度へ

会員数50名未満クラブの内、今後努力を重ねても達成困難なクラブがありますので、特段の配慮の必要があると存じます。

## 広報・雑誌委員会

委員長 中村 覚 (大阪北)

委員 高木 一見 (大阪南)

同 佐々木 誠二 (大阪)

同 柴田 俊治 (大阪西)

同 安竹 一郎 (同)

### I. 広報の活動

恒例の在阪主要報道機関のロータリー担当記者とガバナー、直前ガバナー、広報委員との懇談会を61年9月4日に開催、朝日・日経・読売・毎日の新聞四社と、朝日・関西・読売・テレビ大阪のテレビ四社の出席で例年以上の打ちとけた話し合いが行なわれた。ニュース性のあるもの、活字と電波の違いをわきまえたアプローチを要請された。

クラブ広報委員長会議を61年9月11日に開催し、地区内55クラブの各委員長の出席があり、終始熱心な討議が展開された。各クラブの実践的体験に基づいた広報の成功例が披露され、質疑応答も活発であった。昨年配付して好評だった。各新聞社の記者クラブ、社会部、テレビ局報道部門等のリストの最新版を当日皆さんに配付し、積極的なご活用をお願いした。

61年12月に実施された身障児白浜招待旅行も目前に記者説明会を実施、出席者が少なく当日の報道取材を危惧したが予想外の現地取材があり、特にテレビニュースでの放送は、例年に比べ成功であったと思う。

### II. 雑誌の活動

地区雑誌委員長会議を61年9月29日に54クラブの各委員長の出席を得て開催した。当日は東京から「ロータリーの友」加藤委員長、川崎編集長も駆けつけていただき、活発にして実り多い会議となった。



会員相互のコミュニケーションの場所としての「ロータリーの友」を如何にして愛読して貰うかが根本テーマで、その為の誌面の刷新案も加藤委員長からくわしく説明があり、議論も白熱した会合となった。

「友」の愛読率を高める為に、各委員長が「友」を精読して問題点とかポイントを各会員に知らせたらとの提案もあり、「ガバナー月信」をその為に上手に活用しようとの有益な意見もあった。

4月の雑誌月間の卓話のご依頼が8クラブからあり、「友」の今井地区委員、安竹委員にご協力をいただいた。が一部に希望に添い得なかったことを謹んでお詫び申し上げます。

## 規 定 情 報 委 員 会

委員長 吉野 昭夫 (大 阪 駅)

委員 中筋 一 朗 (大 阪 西)

同 中務 嗣次郎 (大 阪 駅)

同 伊藤 徳次郎 (吹 田)

同 舟戸 良裕 (大阪なにわ)

同 小川 廣 巳 (大 阪 西)

### I. 年初に計画した事業は、下記の5点でありました。

- (1) 1986年度規定審議会で決定した諸規定を各クラブに伝達し、実施適用に遺憾なきよう期したい。
- (2) 会員候補者に対して行うロータリー情報のマニュアルを作成したい。
- (3) 入会后継続して行うロータリー情報提供のためのマニュアルを作成したい。
- (4) 職業分類表を作成したい。
- (5) クラブ委員長会議を開催したい。

### II. 実施記録及び今後の予定

Iの(1)は(5)を兼ねて、昭和61年8月6日、種田憲次パスト・ガバナーを講師として招聘し、46ロータリークラブ全クラブの規定・情報委員長を招集し、説明会を開催しました。

Iの(2)(3)については、すでに作成され、配付準備中であります。年度内にもう一度



会合をもち、作成したマニュアルの説明会を開催する予定であります。

Iの(4)は只今、委員会で新しい社会に対応する職業分類の具体的類型化について研究中であります。地区内は勿論、地区外クラブからも資料を取りよせているが、いずれも不整理の点があり検討中です。

### III. 次年度委員長への伝達事項

年初に計画した5つの活動のうち、4つについては実施したが、職業分類表について完成をみなかった事は、遺憾の念に耐えません。目下検討中であり、その内容は次の通りです。

- (1) 単に職業の類型化にとどめる事なく、ロータリー活動の中に示す職業分類の意味するものが理解出来るようなものでなくてはならない。
- (2) 毎年作成が義務づけられているから、その作業に参考となる資料でなくてはならない。
- (3) 職業分類についての規定を完全に厳守するには、まず特定の企業の事業活動が、一般世間からどのように理解されているかを知らねばならない。しかしきわめて同一性の高い2つの企業が異なった職業分類により分類されている事はしばしばである。これはどの程度の基準で「現実的解釈」をするのかを決めねばならない。
- (4) 「新しい社会に対応する」と言っても「一般世間が認めている」と言う基準とはどの程度のものかを決めなくてはならない。
- (5) 会員増強委員会の意見も充分取り入れ、本来会員増強委員会が担当すべき部分には協力を求めている。これらを基礎に次年度事業として作成してほしい。なお、次年度はマニュアルの活用促進と職業分類表の作成に取り組んで頂きたい。



## 拡 大 部 門

担当パスト・ガバナー 中西 正二 (大阪西)

## 拡 大 委 員 会

委員長	小林 林之助 (大阪北)
拡大カウンセラー	北野 清 (大阪城南)
拡大カウンセラー	三好 誠一 (高槻)
委員	村岡 秀雄 (大阪東)
同	田代 通 (守口)
同	藤本 哲雄 (寝屋川)
同	武尾 敬之助 (大阪西北)

1) 7月31日第1回地区拡大委員会を開いて本年度方針を協議検討した。10月中旬大阪西北ロータリークラブが例会場をヒルトンホテルに移して以来急速に拡大の気運が熟して来た。

### ◎大阪堂島ロータリークラブ(仮称)設立の見通し。

大阪西北ロータリークラブ・橋本会長はじめ会員各位のご理解とご努力並びに地区拡大委員会委員各位のご協力が実り、大阪西北ロータリークラブ区域限界内に下記の通り新クラブ設立の見通しが出来ました。

新クラブ名称	大阪堂島ロータリークラブ (仮称)
スポンサークラブ	大阪西北ロータリークラブ
会場	大阪梅田マルビル 第一ホテル
例会日時	月曜日 12:00～

去る2月にはガバナー特別代表に武尾敬之助会員拡大補佐として、高林辰行、藤井進次の両会員がそれぞれ委嘱された。引き続き10名のキーメンも決まり、既に数回の会合も行っている。

新クラブ入会希望者も約40名に達し、目下白崎拡大委員長を中心に会員選考を進めている段階で、来る6月中旬の創立総会開催を目標に設立業務を進行中であります。

2) 守口ロータリークラブへは、4月1日中西拡大担当パスト・ガバナーが訪問されて、同市内にアディショナルクラブの設立を懇請されました。



## 職 業 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー 世 戸 一 夫 (大阪難波)

### 職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 大 西 淳 (大阪平野)

委 員 中 島 誠 (池 田)

同 常 持 敦 (寝屋川)

同 村 生 悦 三 (大阪難波)

同 津 田 幸 治 (東 大 阪)

同 三 宅 謙 伍 (大阪平野)

本年3月上旬、地区内64ロータリークラブ職業奉仕委員長に対し、先にガバナー月信第2号に発表した本年度地区職業奉仕委員会活動計画の策定項目に沿い、夫々の委員会活動の報告を求め、ここにその総括をもって地区職業奉仕委員会活動の年度報告とした。先ず「職業奉仕」の基本理念に対する認識把握と、「ロータリー綱領」特にその第2のアベニュー、実業及び専門職業の道徳的基準を高めることの理解と実践こそ職業奉仕の目的であることの確認。これらは「四つのテスト」及びロータリーの公式標語「最もよく奉仕するもの 最もよく報いられる」「超我の奉仕」についての理解と活用と併せ、全クラブ共通の最大重点活動分野として認識される。又昨年度当地区において作成した「私の職業奉仕」事例集によるケーススタディやクラブフォーラムも36クラブで実施され、更に8月第1回クラブ職業奉仕委員長会議で初演したrole playing (役割実演法)も13のクラブにおいて試みられ、これら職業奉仕事例をテーマとしたケーススタディは現実味溢れる活発なフォーラムとして、今後の職業奉仕フォーラムの具体的形態としての示唆を与えているものと受けとめられる。又10月職業奉仕月間に「六つの心」のポスターを再版して地区全会員に配付したが、これらは「四つのテスト」とともに会員事業所の職業倫理水準の向上と、明るい職場環境の形成に活用され、大いに効果が認められたとする大多数のクラブからの指摘があった。その他職場従業員の人間性開発、適材適所、経営参加など新しい対策をもつクラブも20を数える。又青少年委員会と協力し、青少年層に対する職業情報や指導の提供をしているもの約10クラブ。社会奉仕委員会と協力、職業奉仕分野において高令者問題に取り組めるもの17クラブ。ハンディを持った人たちや在日外国人への援助など約12クラブ。これらは職業奉仕の本質である「いつくしみ」即



ち「隣人愛」の精神が、ロータリー活動の各分野に及ぶとする一つの形態として評価したい。その他職業奉仕関連の卓話、フォーラム、ロータリアン必携の活用、事業所見学、優良従業員表彰、社是社訓、経営理念、信条等の編集など多くのクラブより報告せられ、又新しくクラブ単位の職業奉仕事例集も2クラブで作成されている。次年度委員長への伝達事項としては、職業奉仕の基本理念理解への一案として「職業訓」といった具体的規範のようなものの作成の配慮と、「職業奉仕事例」のケーススタディの尚一層の勧奨として role playing のシナリオ作成とをあげてみたい。

伊 藤 誠 二 氏 同  
 伊 藤 誠 三 氏 同  
 伊 藤 誠 四 氏 同  
 伊 藤 誠 五 氏 同  
 伊 藤 誠 六 氏 同

（以下は非常に薄い文字で印刷された、ほとんど不可読な内容が続きます。これは原文の複製ミスによるもので、正確なテキストを抽出することはできません。）



## 社会奉仕部門

担当パスト・ガバナー 中村 俊一 (東大阪)

### 社会奉仕委員会

委員長 永野 啓之介 (豊中-大阪国際空港)

委員 西田 三郎 (大阪北)

同 浜田 実男 (高槻東)

同 寶田 重幸 (大阪梅田)

同 寺井 種伯 (大阪天満橋)

同 中谷 庄八 (大阪西)

同 新津 敬直 (大阪西)  
(高齢者問題担当)

同 三好 宏 (大阪平野)

同 小崎 正雄 (東大阪)

同 矢橋 繁雄 (吹田)

#### ◎活動の概況

##### (1) 第3回身障児等白浜招待旅行を実施

地区社会奉仕委員会活動のイベントとして挙行されるこのプログラムは本年も12月10日、11日の両日にわたって取り行われた。

参加者は坂東宏ガバナー及び松本ガバナー・ノミニエ、中村担当パスト・ガバナー、戸田パスト・ガバナーをはじめロータリアン約120名、招待児約130名、ボランティア約80名、総勢約330名の大世帯であった。

このプロジェクトの目的は招待児への慰めや励ましを行うことは勿論、参加したロータリアンが二日間彼等と行動を共にして貴重な社会奉仕活動の実験的体験を得、今後のより一層の個人としての奉仕活動の意欲の高揚に役立てることにあります。

往復の車中での招待児とボランティア及びロータリアンとの交歓風景は誠にほほえましいものであり、ある種の感動さえあたえるものであった。ホテル川久での入浴介助、夕食朝食の配膳は個々のロータリアンが生涯体験し得ないような奉仕活動であった。恵まれない子供達の喜々とした表情、動作は、参加ロータリアンにとって奉仕の真の喜びを教えてくれるものであった。

この企画が次第に一般社会にその意義が浸透しつつあることの証明として多数の報



道関係の取材を受けたが、特にテレビ大阪等は2日間密着取材を行い、後日特集として報道戴いたことには敬意を表すると共に我々の奉仕活動が社会のニーズにいかに対応しているかを再認識させられたものであった。

更に、ボランティアとして多数のローターアクター(15名)、交換学生(10名)、米山奨学生(1名)の参加が得られたことに加えてこれら青少年達が言語の障害をのりこえて見事な奉仕活動を展開されたことであります。

一方、初日の夜に行われた社会奉仕拡大委員会では参加ロータリアンからこの事業に対する忌憚のない御意見が各I.G.F.組別に出され、いずれもこの実験モデルを中心に社会奉仕のあり方について前向きな発言であり非常に有意義なる時間を持つことが出来た。

坂東ガバナーの意向に従って実施されたこの事業は、地区社会奉仕委員会が提唱したものではあるが、実際はI.G.F.各組から選出された実行委員の方々の自主的な活動によって周到に立案、実行されたものであり、換言すればまさに“地区挙げての”大プロジェクトとしてより効果的で活力に満ちた奉仕活動であった。

## (2) ボランティアの調査、発掘、支援

第1回委員長予定者会議に於て、社会奉仕活動に関するアンケート調査を実施、その重点項目の一つとして『地区推奨の「ボランティアの調査、発掘、支援」に関わる事業の実施、又は今後推進の計画があれば』との設問に対し、約半数のクラブ、即ち31クラブが実施、若しくは計画中との答えが返ってきた。それに基づき予定者会議席上、上記アンケートの中から殊に優れた事業については担当委員長より具体的に披露を求め、又問題点は出席者全員で討議するなど有意義な会議に終始した。

次に大阪ボランティア協会に協力し、支所(ビューロー)の設置を推進する。同協会は民間団体であり、ボランティアの育成、教育、広報、研究及びボランティアグループへの援助と、更にサービスの受給者と供給者の調整を行っている。しかし、PR不足で府下一円にはなかなか拡がらず、地域拠点の設置が急務とされている。それが為各クラブに試問をくり返した結果、既成のビューロー(枚方市、寝屋川市、大阪市阿倍野区)への支援を行っているクラブ(4~5)クラブ、新たにビューロー設置の為の調査に取り組んでいるクラブ(4クラブ)があり、今後が大きく期待される。

自殺防止センター、関西いのちの電話への協力支援を行う。

## (3) 高齢者問題

社会奉仕委員長会議の要請により奉仕の詳細なマニュアルを作り、又奉仕するさいの連絡先、老人センター、老人会館、福祉協議会、ボケ老人の連絡協議会等を記載し、各ロータリークラブ社会奉仕委員長に送付した。これにより各ロータリークラブが高



齢者問題に取り組み実行に移している以上はボランティアとも密接に関係があるので連携を深めた。ボケ老人の実態を知ってもらう為、長谷川式簡易知的機能評価スケールを配布し、認識を新たにしてもらった。

市内32ロータリークラブで高齢者の作文を大阪市教委と共催で実行する。

高齢者は報酬が減っても就労したいという意欲があり、働く場を各企業に与えてもらうよう要望した。

(4) 本年度(1986~'87)の社会奉仕活動のアンケート調査

この集計をもとに次年度クラブ社会奉仕委員長会議の開催を予定(3月24日)。



## 青少年奉仕部門

担当パスト・ガバナー 種田 憲次 (大阪住吉)

### 青少年活動委員会

委員長 諏訪 正美 (枚 方)

委員 白井 治義 (大阪西北)

同 阪口 久二男 (大阪淀川)

同 村上 白士 (大阪城北)

同 大山 昭夫 (大阪城南)

同 北井 綜一 (東大阪東)

#### I. 委員会活動報告

地域社会から国際社会にいたる舞台上、ロータリアンが青少年への奉仕を行い、青少年と共に現在という時間を共有し、指導力、奉仕の精神を伝え、友愛を深め、親睦を厚くするのが、ロータリーの青少年奉仕活動の特色であると思う。この線に沿って次のごとく活動を行った。

1) 青少年(部門)委員長会議を期前の1986年6月18日(水)午後2時～4時、薬業年金会館で開催した。活動方針と「I.A.C.・R.A.C.・RYLAホスト一覧表」をもとに各クラブで提唱の機運を盛りあげる様、要請した。

2) 9月の青少年活動月間に充実した青少年奉仕活動ができる様に8月中旬発行のガバナー月信No.2に「9月の青少年活動月間にむかって」を掲載。各クラブの青少年委員会事業計画案(要旨)表を参考に供した。

#### 3) RYLA 実施

1986年9月13～15日に府立総合青少年野外活動センター(大阪府豊能郡能勢町)で“山のRYLA、(東大阪東ロータリークラブホスト)を開催した。青少年105名(男子71名・女子34名)うち交換学生9名、ロータリアン95名、講師団6名、講演「さわやかに生きよう」、中山靖雄・伊勢青少年研修センター所長。

#### 4) 残余期間の活動予定

1987年5月2～4日、府立青少年海洋センター(大阪府泉南郡岬町淡輪)で“海のRYLA、(大阪城南ロータリークラブホスト)を行う予定。

5) 財団法人大阪青少年活動振興協会等、関係団体と交流協会を行い、3回の委員会・



RYLA に指導協力を得た。

## II. 次年度委員長への伝達事項

委員長は継続であり、一部委員の交替があるが、次年度「山のRYLA」11月21～23日、豊中南ロータリークラブホストを予定。尚1988年5月3～5日「海のRYLA」は門真ロータリークラブホストで行われる。

## ローターアクト委員会

委員長 飯原 弘章 (大阪住吉)

委員 目 幸 等 僊 (大阪天満橋)

同 中西 滉 (大阪東)

同 中村 憲次 (茨木)

同 辻 吉和 (八尾東)

同 大西 晃夫 (守口)

今年度も順調に下記のごとく19ローターアクトクラブ参加のもと、行事計画を消化しました。特に当年度は米山奨学委員会との連携を深め、ローターアクトと奨学生との会合を数度行い相互の理解に役立つ意義ある活動が出来ました。また'86年12月にはローターアクト19クラブ連合の街頭募金、「伊豆大島災害救援募金」を提唱クラブ、ロータリアン参加のもと大阪市内ターミナル3か所で催し、大きな成果を得ました。

'87年3月には坂東地区ガバナーもご参画いただき279地区のホストによる全国ローターアクト地区代表会議に1986～'87年度代表 大西英樹、及び次年度代表ノミニ目幸秀子を成田市、日航ホテルの会議に派遣し、地区活動報告、他地区活動情報収集に当らせ、今後の新しい活動に備える様指導いたしました。

1986年7月 連絡協議会、リーダーフォーラム提唱ロータリークラブ

7月 提唱ロータリークラブ、ローターアクト委員長会議

7月 海外研修参加者説明会

8月 海外研修 シンガポール・香港

8月 前期総合R.A.C.会長会議

9月 全国統一R.A.C.の日、米山招待

9月 献血デー



- 10月 ソフトボール大会
- 10月 海外研修解団式
- 11月 新入会員オリエンテーション
- 11月 大阪平野R.A.C.認証状伝達式
- 12月 吹田R.A.C.認証状伝達式
- 12月 伊豆大島災害救援募金活動
- 12月 身障児等白浜招待旅行同行
- 1987年1月 提唱ロータリークラブ、R.A.委員長会議
- 1月 後期総合会長会、LSフォーラム
- 2月 大阪、北大阪、ゾーンパーティ
- 3月 献血デー
- 3月 全国R.A.地区代表者会議

残余3か月の活動予定は地区指導として数回催すこととなります。

- 1987年4月 R.A.地区運動会 枚方パーク
- 4月 第266地区ロータリー一年次大会参加
- 4月 新旧会長幹事会
- 5月 RYLA 参加
- 5月 第266地区 R.A.年次大会(茨木)
- 6月 新旧会長会
- 6月 次年度海外研修参加者説明会

#### ◎次年度委員長への伝達事項

ローターアクトクラブ提唱を未提唱クラブに依頼する。1987年7月の英国に開催されるインターローターへ参加(地区内より1～2名推選)。ローターアクト、エクスチェンジ。オーストラリアとの相互交流について。

1987年8月、地区R.A.海外研修指導と訪問地へのコンタクト。その他活動計画作成等。



## インターアクト委員会

委員長 平岡 龍人 (大阪)

委員 的場 勝弥 (大阪うつほ)

同 仲野 欣弥 (大阪阪南)

同 畑田 豊 (大阪城南)

同 塩山 高之 (大阪南)

同 重村 泰弘 (大阪南西)

同 北本 克文 (大阪東)

今年度の委員会活動報告と今後の活動予定及び次年度への引き継ぎ事項について、下記の通りご報告申し上げます。

### I. 現在までの主な活動事項

活動項目	実施日	実施場所	ホストクラブ	対象
地区I.A.委員会・顧問会	6月7日	清風学園	東高校	地区委員(新・旧)顧問
新人歓迎会	6月8日	四天王寺	四天王寺	WWF基金募金活動
海外研修下見	7月9日～12日	ハワイ	東高校	委員長、副委員長、顧問1
海外研修 オリエンテーション第1回 リーダーシップ・フォーラム	7月19日・20日	東高校	東高校	海外研修参加者、各校 会長、副会長 オリエンテーション及 び、交流会
海外研修 オリエンテーション第2回	8月9日	東高校	東高校	海外研修参加者
海外研修	8月22日～27日	ハワイ	東高校	海外研修参加者
海外研修反省会	9月13日	東高校	東高校	海外研修参加者
地区I.A.委員会 顧問会	10月11日	清風学園	大阪R.C.	地区各I.A.委員 顧問
年次大会	11月23日	東高校	東高校	クラブ員全員

#### ○海外研修

本年度の海外研修は、8月22日から27日までハワイで実施しました。若者に人気のある場所であり、参加希望者が多く総勢67名が参加し、有意義な海外研修ができたと思います。アリヨシ知事、ホノルル市長表敬訪問、日系人講演会、ホームビジット、ポリネシア文化センター見学、パールハーバーロータリークラブ例会出席等が主な事



項です。詳しい内容については、ガバナー月信No.4及び「体験！ALOHAハワイで考えた国際交流」（報告書）の通り。

#### ○年次大会

年次大会についてはガバナー月信No.6で簡単に報告致しましたが、梶谷信之氏（オリンピック体操選手）講演と生徒による「国際交流のあり方」についてのパネルディスカッションを中心にして開催しました。現在年次大会の報告書を作成中ですので、詳しくは後日報告書により報告致します。

## II. 今後の活動予定

### (1) 年次大会報告書の作成

年次大会と共に海外研修についても更にもう少し追加して報告書をまとめる予定。

### (2) 身障者マップの作成

インターアクターから提案のあった大阪市内の身障者マップの作成を奉仕活動の一環として取り上げる予定です。

### (3) 新インターアクトクラブの創立

八尾ロータリークラブが提唱クラブとなり、浪花金光学園に新しいI.A.C.が結成されてくることになり、本年度中に創立総会、認証状伝達式開催予定。

## III. 次年度への伝達事項

### (1) 海外研修について

海外研修では、ホームステイを実施することが効果的であると思います。その為には、2、3年は同じ場所を継続して訪問すること、受入れ家庭（機関）の確保等が必要。

### (2) 新I.A.C.の設立

八尾－金光学園の外にも東大谷高校が希望されています。



## 国際奉仕部門

担当パスト・ガバナー 伊瀬 芳吉 (池田)

### 世界社会奉仕委員会

委員長 増田 鼎 (八尾)

委員 喜井 晴夫 (守口)

同 新田 精一 (大阪南)

同 池岡 清之 (大阪鶴見)

同 中村 健 (箕面中央)

同 松本 良諄 (大阪東)

#### ◎実施済プロジェクト報告

まず地区レベルのプロジェクトについては、

1. 前々年度より持越しのR.I.登録プロジェクト2口(タイ国バンコク南ロータリークラブホストによる遠隔地の難聴者への治療教育用具援助=登録1811号の米弗8,000口と、インドネシア・マランロータリークラブホストによる貧困児童の施設拡充資金援助=登録1842号の米弗9,000口)の送金はいずれも3月中旬に完了した。
2. 本年度分の新規プロジェクトとして、R.I.W.C.S.アジア担当の岡野諮問委員より配付を受けた3口(フィリピン・ヒナガランロータリークラブホストによる胸部疾患患者用エックス線機械援助=登録1964号の米弗6,000口、インド・バージョイロータリークラブホストによる児童用ミニバス等援助=登録2242号の米弗6,000口およびフィリピン・サンファニーコタクロバンロータリークラブによるゴミ収集用トラック援助=登録2203号の米弗5,000口)はすでに援助を確定して取決め完結次第、直ちに送金手配の予定である。

特にエックス線機械については、日本側の中古物件を現物援助すべく、目下準備中である。また基金への受入額は予定額を上回り、8,325千円に達した。

次にクラブ・レベルのプロジェクトについては、その積極的推進に努めた結果、やっと数クラブが新規参加した。

1. 守口ロータリークラブは地区内外4ロータリークラブのジョイント参加を得て、総勢26名の奉仕団を例年通り年末年始の数日間ネグロス島への奉仕団派遣を実施し、本年度は別に小規模井戸6基への資金も併せて援助した。



2. 大阪天満橋ロータリークラブと東大阪ロータリークラブは、それぞれ近隣クラブの協力の下に、ブラジルのサンパウロ・リベルダーデロータリークラブあて読み古しの約2,500冊に達する図書を寄贈して現地あてに昨年の11月に発送を終えた。

3. 大阪平野ロータリークラブはタイ国の姉妹クラブを現地訪問の上、資金援助を実施したがその他7ロータリークラブもそれぞれ継続実施中のプロジェクトを実施済か実施準備中である。

◎カパラス R.I. 会長の提唱による顕著な W.C.S. プロジェクトの特別表彰については、守口ロータリークラブと大阪南ロータリークラブとの2クラブの申込みを受け、ガバナーの署名を得て提出済であるが、当地区よりは特別表彰の対象となる50クラブの一つに選出されることを期待している。

◎「ロータリーの友」英文版の各号に W.C.S. 関係の記事が掲載されたので50部を購入して、援助提供先へ優先的に配付中である。

## 青少年交換委員会

委員長 入江 和夫 (高 槻)

委員 鈴木 基弘 (吹田西)

同 坂本 旭 (大阪東淀)

同 阪本 義樹 (東大阪)

同 中西 清雄 (摂津)

同 清基 英昭 (池田)

同 平尾 力 (豊中)

### I. 青少年交換計画の概況

(1) 今年度は前年度より引き続き留学中の学生を含めて10名(男5、女5)を派遣中であり、同時に10名(男7、女3)を米国、カナダより受け入れ交換している。

(2) 次年度は、3月派遣の学生が3名(男1、女2)、8月派遣の学生7名(男4、女3)が予定されており、合計は前年度と同じく10名の交換となる。更に派遣交換を希望する問い合わせもあったが、既に相手地区との交渉も進んでおり、次々年度へと勧めている。

(3) 今年度は従来の長期交換地区である米国、カナダの諸地区以外に、インド(D-315)、西ドイツ(D-184)、オランダ(D-156)、スイス(D-199・200)、ブラジル(D-462)、



メキシコ(D-411)、イタリア(D-210)等の諸地区との長期、短期交換の交渉が出来た。現在、ニュージーランド、オーストラリア、英国と接渉中である。言葉の問題もあるので、交換用語は総て英語とする事に決めた。

- (4) 派遣学生は夫々困難な時期を経て順調な生活を営んでいる模様である。一方受け入れ学生については、ホストクラブ、カウンセラー及びホスト家族の方々との事前、事後の打ち合わせ会、或は随時に連絡を取りつつ一応予定通り留学生活を送っている。然し、ホストファミリー、カウンセラーにとって、来日当時彼等の世話は大変な苦勞を伴った様である。最近来日学生だけの会合で彼等もそれをよく自覚している様であり、感謝の気持ちを持ちつつ在日生活を楽しんでいる。
- (5) レックス(交換学生のOB会)に対しては、従来通りに助成していく事とし、今年度は彼等の名簿を更新した。又受け入れ学生に対しては、ガバナー、レックスとの四国一泊旅行、新年会、身体障害児との白浜旅行、その他の会合に積極的に参加させ、交流を深め、日本滞在が有意義なものになるよう努めさせている。

## II. 交換学生の状況

### (1) 派遣学生

#### ① 1986年3月～1987年3月帰国

鍋島 治夫(男)	大阪住吉	D 510	米オレゴン
井筒 省吾(男)	大阪難波	D 510	米オレゴン
三宅 淳子(女)	大阪城南	D 701	加オンタリオ
福井 利恵(女)	摂津	D 701	加オンタリオ
折口 哲治(男)	大阪なにわ	D 707	加オンタリオ
柴田 真一(男)	大阪なにわ	D 595	米ミネソタ

#### ② 1986年8月～1987年8月帰国

濱田 郁代(女)	大阪東南	D 540	米アイダホ
林 牧(女)	大阪城北	エセックス	米東部諸州
渡辺 紀生(男)	大阪淀川	セントラル	米中部諸州
前田 晶子(女)	大阪住吉	セントラル	米中部諸州

#### ③ 1987年3月～1988年3月まで派遣

松村真由美(女)	東大阪	D 701	加オンタリオ
片山三千太(男)	枚方くずは	D 701	加オンタリオ
芦谷 恭子(女)	守口	D 707	加オンタリオ



④ 1987年8月～1988年7月まで派遣

松本 寅治(男)	大 東	D 645	米セントラル
岩崎 明子(女)	大 東	D 709	米
山本 敢哉(男)	大阪うつぼ	D 658	米セントラル
高野 准幸(男)	大阪阿倍野	エセックス	米東部諸州
鶴元 進一(男)	摂 津	D 595	米
海堀 麻子(女)	大阪西南	D 540	米
奥村 哲子(女)	大 東	D 510	米

(2) 受け入れ学生

① 1986年8月～1987年7月まで在日

Kris Annekuhleneier	(女) 16才	ホスト：交野
スポンサー：R.C. of Freeport Illinois		D 642 (米)
Michael David Conte	(男) 17才	ホスト：摂津
スポンサー：R.C. of Campbellford		D 701 (加)
Jonathan Brett Baker	(男) 16才	ホスト：大阪住吉
スポンサー：R.C. of East Salem		D 510 (米)
Jonathan Roy Martinek	(男) 16才	ホスト：大阪城北
スポンサー：R.C. of Hackensack Nj		D 749 (米)
Tina Louise Leslie	(女) 18才	ホスト：大阪城南
スポンサー：R.C. of Peterborough		D 701 (加)
Michael Edward Black	(男) 16才	ホスト：大阪なにわ
スポンサー：R.C. of Asax		D 707 (加)
Liberty John Miller	(男) 16才	ホスト：大阪なにわ
スポンサー：R.C. of Minneapolis City of Lakes		D 595 (米)
Bryan Gregory Tracy	(男) 15才	ホスト：大阪淀川
スポンサー：R.C. of Marion Wisconsin		D 622 (米)
Traci Michele Wade	(女) 15才	ホスト：大阪難波
スポンサー：R.C. of Wallowa County		D 510 (米)
Mary Malinda Whitenack	(女) 16才	ホスト：大阪東南
スポンサー：R.C. of Pocatello		D 540 (米)

② 1987年8月～1988年7月まで在日

STURTZ Cindi Lou	(女)	ホスト：大阪西南
スポンサー：R.C. of Twin Folls, Idaho,		D 540 (米)



- Perkins Christopher Alan (男) ホスト：枚方くずは  
 スポンサー：R.C. of Elliot Lake Ontario Canada D 701 (加)
- Marcil Shawn Philippe (男) ホスト：守口  
 スポンサー：R.C. of Brampton, Ontario Canada D 707 (加)
- Gibbons Stacy Renee (女) ホスト：大東  
 スポンサー：R.C. of Owosso Michigan D 631 (U.S.A. セントラル)
- Niccun Eric Charles (男) ホスト：大阪うつほ  
 スポンサー：R.C. Rushville Indiana D 656 (U.S.A. セントラル)
- Cunningham Caroline Atlee (女) ホスト：摂津  
 スポンサー：R.C. of Minneapolis Minnesota D 595 (U.S.A.)
- Kay William Morris (男) ホスト：大阪阿倍野  
 スポンサー：R.C. of Bethlehem Pennsylvania D 743 (U.S.A. エセックス)
- Scott Stephen Louglas (男) ホスト：東大阪  
 スポンサー：R.C. of Peterborough Ontario Canada D 701 (加)

### III. 短期交換学生

ホストクラブ：第503地区 OVERLAKE ROTARY CLUB  
 (WASHINGTON, U.S.A.)

会 長 KIT BOWERMAN

スポンサークラブ：八尾東ロータリークラブ D-266

会 長 佐野 利一

青少年交換委員長 高橋 義明

国際奉仕委員長 橋本 隆

派遣学生 (1986年7月29日～1986年8月21日)

鹿田 昌美 プール学院高等学校 1年 15才 八尾市在住

佐藤 慈子 プール学院高等学校 1年 15才 生駒市在住

八木 克子 手塚山学院高等学校 2年 17才 八尾市在住

池 明子 大阪府立八尾高等学校 2年 16才 八尾市在住



# 米山奨学委員会

委員長 木梨 正夫 (東大阪中)

委員 中島 誠 (池田)

同 近藤 雅臣 (千里)

同 櫻井 良文 (大阪)

同 中川 藤一 (大阪西)

## I. 募金状況

米山奨学会に対する寄附実績は、12月末までの上半期普通寄附917万円、特別寄附3904万円、合計4812万円で、1人平均10791円となり、前年度上半期より稍増加し、地区目標額は達成の見込であるが、依然低調である。

## II. 米山奨学生の援護活動

(1) 世話クラブのカウンセラーによる援護活動は概して順調であり、感謝にたえない。

(2) 奨学生を含む諸活動

7月下旬各クラブ米山奨学委員長、カウンセラーを交えた昼食懇談会、11月下旬京都御所等の見学会、レクリエーションには奨学生家族も参加し、盛会であった。

本年3月2日、終了奨学生歓送会を実施。

(3) 地区ローターアクト行事への参加を勧めたところ、相当数の奨学生の参加があり、若い者同志の親善交流に成果があったと認められる。

## III. 米山事業に対するPR活動

7月下旬、地区米山奨学委員長会議を開催した外、米山月間には地区委員による卓話、奨学生の卓話が行われている。又I.G.F.の度に地区委員が手わけしてPRにつとめた。

## IV. 米山奨学生学友会(関西)の活動

61年5月結成以来、積極的に米山事業、ローターアクト活動にも参加され、基礎固めの努力をしているが、更に努力と時間を重ねる必要がある。

## V. 残余期間の行事予定

(1) 地区年次大会、ローターアクト年次大会等への奨学生の参加を積極的に勧める。

(2) 5月中旬、新規採用奨学生のオリエンテーションを行う。



## VI. 次年度委員長への伝達事項

- (1) 募金活動について、有効適切な方法を御検討願いたい。
- (2) 地区内行事には一人でも多くの奨学生の参加を希望するので、諸行事の日程のとり方について更に検討を要する。
- (3) 諸行事には差支えない限り奨学生の家族を参加させることは、本年度は最初の試みとして効果があったと思われるが、今後どのような範囲、方法が適当か研究を要する。
- (4) 肩のこらない行事には、奨学生の友人留学生(非奨学生)の参加が相当あったが、奨学生を軸とした国際交流の輪を拡げる機会と考えられるので、これを勧めても良いのではないか。
- (5) ローターアクト行事への参加を引続き勧めてほしい。

## 国際交流委員会

委員長	山田 重迪	(大阪梅田)
委員	野村 浩司	(大阪港)
同	嘉納 尚	(大阪西)
同	葛原 忠知	(大阪梅田)
同	中江 博	(大阪駅)
同	稲本 晃	(大阪東)

- 61年6月19日 次期国際交流委員会開催、坂東ガバナー・ノミニー、次期国際奉仕担当  
パスト・ガバナー伊瀬氏のご出席を得て次期の方針決定——友情交換は  
地区としては行わない。国際大会ゆき推奨コースは設定する等決定
- 61年7月19日 地区合同委員会
- 61年8月6日 国際交流委員会開催、地区推奨コースについて会談
- 61年8月14日 コースについて会談、旅行業者9社を決定
- 61年9月26日 旅行業者に示す条件の検討
- 61年10月13日 旅行業者9社を集めコース、条件を提示、見積書の提出を求める
- 61年10月27日 各旅行業者よりの旅程表及び見積を検討の結果6社に決定
- 61年10月29日～31日 採用決定の6旅行業者を個別に呼び見積について修正点を明示し  
再見積の提出を求める。



- 61年11月10日 国際交流委員会開催、見積の修正案を検討し再修正をする。
- 61年11月11日～15日 各旅行業者に再び個別に接話し修正を求める。
- 61年11月19日 国際交流委員会開催、見積案検討、決定
- 61年12月5日 各旅行業者と共同パンフレットの作成について検討し、当方で旅程表の一定のモデルを示し提出を求めると共に、パンフレット表紙部分は当方で作成することとする。これら費用は各旅行業者の負担とする
- 61年12月18日 地区推奨コースパンフレットを各クラブ宛送付
- 62年1月30日 各クラブ宛2月末及び3月末における国際大会参加予定者の調査書の提出を要請した。
- 62年5月15日 国際大会参加者のオリエンテーション開催  
(I.G.F.は1組～8組まで全て出席し、国際大会のPRにつとめた)

全 員 交 流 交 渉 団

- (代表者) 藤原 伸也
- (代表者) 佐藤 洋行
- (代表者) 高橋 隆雄
- (代表者) 藤原 忠雄
- (代表者) 藤原 正雄
- (代表者) 藤原 正雄



## ロータリー財団部門

担当パスト・ガバナー 戸田 孝 (八尾)

### ロータリー財団委員会

委員長 戸田 孝 (八尾)

委員 山田 和義 (大阪うつぼ)

同 白羽弥右衛門 (大阪阿倍野)

同 森川 晃卿 (大阪住吉)

同 木川 稔 (摂津)

同 田中 穰二 (大阪西南)

#### ◎地区ロータリー財団委員会報告

1987年3月19日午後5時より3時間半にわたり、地区財団委員会は候補者平塚 彰氏(4月1日付で、大阪産業大学助教授に昇任の見込み)を大学教員のための補助金(但し世界無競争)の候補者として面接の上、財団管理委員会にこの旨関係書類を添えて申請しました。

### 財団増進委員会

委員長 山田 和義 (大阪うつぼ)

委員 村司 怒峰 (豊中)

同 大社 照史 (大阪淀川)

同 青野 明 (交野)

ポリオ担当委員 阪口 勇 (大阪柏原)

#### I. 活動報告

年度初めの活動計画に基づき、下記のとおり財団活動を行いました。

- (1) 5月12日、戸田担当パストガバナー出席のもとに、当委員会を大阪うつぼロータリークラブ事務所で開催し、新しい情報の提供を受け、本年度の活動方針を討議した。その結果、本年度も1人当たり70ドルの目標を設定した。



- (2) 9月8日、各クラブロータリー財団委員長会議を大阪YMCA会館で開催。地区財団の各委員会より活動の現況を説明し、財団活動の円滑なる増進を計った。
- (3) 11月29日、地区ロータリー財団打合せ会を、大阪YMCA会館で行い、戸田担当パストガバナーを中心に、地区財団部門の各委員長及び阪口ポリオ担当委員と意見交換をした。
- (4) 12月に入って、各クラブ宛に「財団月間を終えて御礼とお願い」の書翰を出し、財団寄付と、ポリオ・プラス計画が両立して、活発な財団の奉仕活動が行われるよう依頼する。
- (5) 各組のI.G.F.には増進委員分担出席し、新しい情報、並びに現況を報告し、財団に対する認識を喚起した。
- (6) ガバナー月信に適時、財団関係の記事を掲載した。
- (7) 今後の予定として、3月末の寄付実績を見た上で、最後のお願いをすとか、期末の送金は早目にするよう各クラブに要請するなど、残余の期間に最善の努力をして、財団増進の実を挙げたいと思っています。
- (8) ポリオ・プラスに就きましては、坂口氏に担当委員をお願いし、凡ゆる機会を通じて、そのPRに努めました。

## II. 次年度委員会へ

新設のポリオ・プラス委員会、並びに地区財団部門の各委員会とは緊密な連携が必要だと思えます。



## 財団奨学金委員会

委員長 白羽弥右衛門 (大阪阿倍野)

委員 菅田 栄治 (大 阪)

同 名張 隆政 (吹 田)

同 内藤 和夫 (千 里)

同 高士 修 (守 口)

同 林 栄一 (箕面中央)

同 大川 進一郎 (大 東)

同 西村 広一 (東 大 阪)

同 森川 晃卿 (大阪住吉)

◎1987～'88年度財団奨学生候補者募集については、1986年7月1日各ロータリークラブにおいて申請書受付を開始、8月2日〆切、申請書を逐次D.G.に送付、8月3日〆切ったところ、64ロータリークラブ中30ロータリークラブから47人の申請者があり、9月11日第一次選考で35人が合格、さらに第二次選考を9月20日に実施、正候補者16人(そのうち1人辞退)と補欠候補者5人(そのうち1人昇格)を選出、これを財団管理委員会へ送付、最終的に1987～'88年財団奨学金受領者と決定されたもの16人の氏名、受入先等は表記の通り。ただし、うち1人は今日のところ受入機関がまだ決定されていない。奨学金受領者にはすでにそれぞれスポンサーロータリークラブ会員の1人に顧問をD.G.が委嘱してあり、学友委員会の協力を戴き顧問ともども渡航前オリエンテーションを継続実施中。

### ◎次期奨学金委員会

委員長 白羽弥右衛門 (大阪阿倍野)

委員 名張 隆政 (吹 田)

同 高士 修 (守 口)

同 大川 進一郎 (大 東)

同 森川 晃卿 (大阪住吉)

同 阿部 裕 (大 阪)

同 塩川 二郎 (千 里)

同 西田 陽一 (茨 木)

◎1988～'89年度奨学生募集については、ポスター、パンフレット等を大学、研究機関、諸施設、企業等へ、また各ロータリークラブにはこれらに加えて申請書一式等を一月末に



配布した。

来る5月9日(土)には各ロータリークラブの財団委員等のご参集を得て、奨学金申請手続を主とする合同委員会を大阪YMCA会館で開催する予定。については各ロータリークラブから必ず1人ないし複数の関係委員のご出席をお願いしたい。その後における行事予定は下記の表の通り。

1) 各ロータリークラブのロータリー財団または国際奉仕委員長合同会議

主題：奨学金申請手続について

5月9日(土)13:00~17:00

大阪YMCA会館9F(903号室)

大阪市西区土佐堀1丁目5-6 ☎(06)441-0893

2) 各ロータリークラブにおける申請書受付開始(完成書類は逐次ガバナー事務所へ送致) 6月1日(月)

3) 各ロータリークラブにおける申請書の受付締め切り 7月3日(金)

4) ガバナー事務所における締め切り 7月25日(土)

5) 第1次選考試験 8月1日(土) 受付9:00~9:45締切

試験開始 10:00~16:30 大阪YMCA会館9F

6) 第2次選考試験 8月15日(土) 9:00~15:00 大阪YMCA会館9F

7) ロータリー財団管理委員会における申請書最終締め切り 10月1日(木)

8) 候補者本人ならびに地区ガバナー宛の財団管理委員会の奨学金受領最終決定者名の通知到着 1987年12月15日(火)

### ◎ロータリー財団国際平和奨学金—新規プログラム

本年3月3日到着した奨学金プログラム委員 S. A. Schreier の書翰によれば、世界平和を研究する奨学金課程として、「国際平和奨学金」が発足したことが報じられている。これによれば、世界中の6地区からそれぞれ1人ずつ競争制で奨学金をうけることができ、受領者は英国西ヨークシャー州、ブラッドフォード市にある University of Bradford School of Peace Studies において、平和問題および紛争解決に関連した研究に従事することができるようになった。財団奨学金申請資格をもつ全候補者がこれに応募することができる。しかし、この課程の国際最終メ切りは1987年7月15日となっている。ところが上述のとおり、D266の本年度奨学金申請者選考試験は8月15日(第2次試験)となっているので、本年度においては「平和」課程をとることができない。

奨学金小委員会としては、次年度において善処して、この6人の world competition scholarship に候補者を送りたい考えである。



©1987~'88年奨学金受領決定表

氏名	年齢	性別	推薦クラブ	留学先	課程別	留学先 University of Alberta University of Minnesota Mexico National Autonoma de Mexico Université de Tours University of London Cornell College University degli studi di Trieste University of Mississippi Universidad Complutense de Madrid Georgetown University University of Chicago Ohio State University Institute of Development Studies University of California-Los Angeles Universidad Complutense de Madrid New York University	留学先 カナダ アメリカ メキシコ フランス イギリス アメリカ イタリア アメリカ スペイン アメリカ アメリカ インド アメリカ スペイン アメリカ スベイン アメリカ アメリカ インド アメリカ スベイン アメリカ アメリカ	課程別	留学先 University of Alberta University of Minnesota Mexico National Autonoma de Mexico Université de Tours University of London Cornell College University degli studi di Trieste University of Mississippi Universidad Complutense de Madrid Georgetown University University of Chicago Ohio State University Institute of Development Studies University of California-Los Angeles Universidad Complutense de Madrid New York University	カウんセラー
藤田雅之	25	男	大 阪	カナダ	A	アルバータ大学 University of Alberta	阿部裕			
橋本明子	22	女	大 阪	アメリカ	B	ミネソタ大学 University of Minnesota	張哲彦			
肥谷夏城	22	男	寝屋川	メキシコ	B	メキシコ国立自治大学 Universidad Nacional Autonoma de Mexico	常持敦			
川北恭子	25	女	箕面	フランス	A	ツール大学 Université de Tours	田川弘雄			
川中紀子	23	女	豊中-大阪 国際空港	イギリス	A	ロンドン大学 University of London	安本弘			
木野勇人	22	男	高 槻	アメリカ	B	コーネル大学 Cornell College	寺田常男			
木下大朗	23	男	豊 中	イタリア	A	トリエステ大学 University degli studi di Trieste	森下卓也			
河野毅浩	21	男	箕面	アメリカ	B	ミシシッピ大学 University of Mississippi	吉森昭夫			
栗田節子	21	女	箕面中央	スペイン	B	マドリッドコンプルテンセ大学 Universidad Complutense de Madrid	黒木義典			
松本重紀	21	女	豊 中	アメリカ	B	ジョージタウン大学 Georgetown University	横井輝男			
松本豊	24	男	大 東	アメリカ	A	シカゴ大学 University of Chicago	重光世洋			
中村晶彦	28	男	守 口	アメリカ	A	オハイオ州立大学 Ohio State University	井上幾之進			
大石周	25	男	大阪阿倍野	インド	A	アイベロプロメントスタディーズ研究所 Institute of Development Studies	渡辺純一			
岡本悦司	29	男	大阪心斎橋	アメリカ	A	カリフォルニア大学 University of California-Los Angeles	堀 訓也			
岡本麻記子	21	女	千 里	スペイン	B	マドリッドコンプルテンセ大学 Universidad Complutense de Madrid	内藤和夫			
竹村登茂子	28	女	大 阪	アメリカ	E	ニューヨーク大学 New York University	河村洋二郎			

A：大学院課程 B：大学課程 C：職業研修 D：心身障害者教師 E：ジャーナリズム



## 研究グループ交換委員会

委員長	木川	稔	(摂津)
委員	山中文和		(大阪南)
同	村上	実	(池田)
同	辻中	昭一	(大阪梅田)
同	東	平介	(寝屋川)
同	細江	重	(大阪東淀)
同	木村	英一	(大阪住吉)
同	銭谷	力	(摂津)
同	永井	武	(八尾)
同	松本	良諄	(大阪東)

今年度当委員会の活動計画は、前半は西独第183地区へG.S.E.チームの派遣を実施、後半は第183地区チームの受け入れに備えた。

尚今年度から、ロータリー一年度に、派遣と受け入れが実施されることになったことを特に注意したい。

### (1) 派遣地区

第183地区 (西独)

### (2) 派遣期間

昭和61年9月1日より同年10月12日迄。

### (3) 成果

既にガバナー月信並びに、昨年7月19日の地区委員会に於て、その活動計画及び団員のプロフィールを発表した。特に、ガバナー代理 木村英一団長の立派なお人柄と優れた団員の掌握力、それに優秀な語学力により、非常に輝かしい成果を挙げて、全員無事帰国した。又同地内各地に於て、大歓迎を受けた。

第183地区ガバナー及びG.S.E.委員長より、『木村英一団長の優秀な引率力のお陰で、希に見る優れたG.S.E. チームを派遣して頂いて感謝する』旨の書簡を受理している。次に受け入れについて。

### (1) 受け入れ地区

第183地区 (西独)

### (2) 受け入れ期間

昭和62年4月6日より同年5月15日迄 同16日帰国。



尚、大阪空港着時間(最終的なもの)は、4月6日、20:00時。帰国は5月16日、16:00時と決定。

(3) 受け入れ団員のプロフィール

① ガバナー代理(団長)

Rot. Wolfgang Müller ウォルフ ガング ミュラー教授

ロータリークラブ:キルヒハイム-ニュールティンゲンR.C.

住所:ホーフ17, D.7435, ヒュルベン(シュヴァーベン アルプ ドイツ西南地区)

TEL.:07125/5793

年齢:47才

家族:夫人・ハイディ ミュラー、男子2名(17才・18才)

職業:大学教授

科学的関心分野:動物舎空気中の超微粒粉体、動物輸送

趣味:エジプト学、エレクトロニクス

学歴:獣医学を修め、ハノーバ大学で博士の学位取得

② 団員

Rainer Andreas Häusler ライナー アンドレアス ホイスラー

住所:エトレンゼガルト43 ツットリンゲン

TEL.:07461/5947

年齢:32才

家族:夫人・ドーリス、2児

職業:エスクラブ会社勤務(意匠工学者)

趣味:スポーツ、オートメーション、外国旅行

Jurgen Nikolaus Horbach ユィールゲン ニコラス ホールバッハ

住所:ハイドン通り10a.フライブルグ

TEL.:0761/53102

年齢:33才 未婚

職業:ヘルダー出版社編集者

趣味:音楽、登山(岩登り)、政治及び社会問題、古典及び現代美術

Ulrich Werner Kienzler ウールリッヒ ウェルナー キーンツラー

住所:ローゼン通り4 ビーティヒハイム

TEL.:07245/81577

年齢:29才

家族:夫人・マルティナ



職 業：市役所自然保護管理部勤務(森林保安官)

趣 味：自然科学、猟、写真

Dr. Heinrich Michael Kuntz ハイน์リッヒ ミカエル クンツ博士

住 所：マルガリーテン通り12 ラインステッテン2

TEL.：07242/5460

年 令：31才

家 族：夫人・マリア、3児

職 業：外科病院で血管外科の専門医師

趣 味：古典及び現代音楽、経済組織の社会的展望

Hans Gerd Rudolf Lutz ハンス ゲルト ルードルフ ルッツ

住 所：ヨハネス通り5 アルプスタット1

TEL.：07431/55523

年 令：31才

家 族：夫人・ゲルトルート

職 業：市長秘書(法律問題担当)

趣 味：スポーツ、技術、文学、エレクトロニクス

#### (4) 受け入れ態勢

地区内64クラブを下記の通り、5ブロックに分割、各ブロックより実行委員長、副実行委員長、委員を選出、お世話頂くこととした。

##### ◆第1ブロック

池田、池田くれは、箕面、箕面中央、豊中、豊中南、豊中—大阪国際空港、豊中千里、以上8ロータリークラブ。

##### (a) 受け入れ期間

4月7日より同11日。

(b) 実行委員長 八谷 平吉(豊中)

副実行委員長 太田 満敏(豊中)

” 西川 治男(豊中南)

実行委員 7名

##### ◆第2ブロック

茨木、茨木東、千里、摂津、吹田、吹田西、高槻、高槻東、大東、枚方、枚方—くずは、門真、交野、守口、寝屋川、四條畷、以上16ロータリークラブ。

##### (a) 受け入れ期間

4月11日より同18日



(b) 実行委員長 東浦 栄一 (寝屋川)

副実行委員長 檀村 泰信 (撰 津)

〃 青野 明 (交 野)

実行委員 16名

◆第3ブロック

八尾、八尾東、八尾中、東大阪、東大阪東、東大阪中、東大阪西、大阪柏原、以上  
8ロータリークラブ。

(a) 受け入れ期間

4月18日より同28日(第264地区で3日間お世話になる)

(b) 実行委員長 田中 純吉 (八 尾)

副実行委員長 柴田 隆明 (大阪柏原)

〃 市口 武志 (東大阪東)

実行委員 8名

◆第4ブロック

大阪、大阪駅、大阪北、大阪大手前、大阪西北、大阪天満橋、大阪梅田、大阪東、  
大阪東淀、大阪北淀、大阪大淀、大阪城東、大阪北、大阪鶴見、大阪淀川、以上15  
ロータリークラブ。

(a) 受け入れ期間

4月28日より5月7日

(b) 実行委員長 佐野千代造 (大阪梅田)

副実行委員長 井上 武 (大阪東淀)

〃 荻野 良雄 (大阪梅田)

実行委員 29名

◆第5ブロック

大阪南、大阪港、大阪難波、大阪なにわ、大阪西、大阪西南、大阪心斎橋、大阪う  
つば、大阪阿倍野、大阪阪南、大阪平野、大阪城南、大阪南西、大阪住之江、大阪  
住吉、大阪東南、大阪阪和、以上17ロータリークラブ。

(a) 受け入れ期間

5月7日より同15日

(b) 実行委員長 吉田三七雄 (大阪南)

副実行委員長 久我 三郎 (大阪南)

〃 菅生清左衛門 (大阪南)

実行委員 16名



昨年10月、各ブロックに所属する全クラブの会長、財団奉仕委員長、並びに国際奉仕委員長の方々に、各ブロック別にご参集頂きました。其の節、戸田担当パスト・ガバナーと私、木川が皆様に第183地区G.S.E.チーム来日に備えて、種々のご協力をお願いすると共に、各ブロックの実行委員長、副実行委員長二名、それに実行委員の選出をして頂きました。

各ブロックの担当G.S.E.地区委員、正副実行委員長、それに実行委員方のたび重なる会合とご協力により、立派な計画小冊子が出来上りました。既に関係各ロータリアンの皆様のお手許に届いているものと存じますが、ここに厚くお礼申し上げる次第です。

第183地区G.S.E.チーム来日の節は、何とぞ木村団長以下6名のG.S.E.チームが、彼地に於て大歓迎を受けたことをご想起いただいて、快よくお迎え下さる様、切にお願い致したいと存じます。

尚、今回初に「G.S.E.チームメンバーのホームステイに当り、その心得」(仮題)を発行することとなりました。ホームステイを引受けて下さったロータリアン並びに奥様にぜひお読み頂きたいと存じます。

## 財 団 学 友 委 員 会

委員長 田 中 穰 二 (大阪西南)

委 員 黒 田 巖 之 (大阪淀川)

同 湯 川 泰 秀 (大 阪)

同 仲 芳 樹 (吹 田)

同 中 田 康 仁 (大阪南)

本年度より従来の第264地区との合同事業を分離し、当地区単独で下記の活動を行った。

### 1. 財団学友名簿の作成配布

当地区財団学友原簿の整備につとめると共に、第264地区との事業分離にともない、地区分割以前の学友全員と分割以降の当地区学友の名簿を9月に作成の上配付した。

### 2. 財団奨学生へのオリエンテーション

財団奨学金委員会と共催で第1回オリエンテーションを11月29日、大阪YMCA会館で開催し、戸田パストガバナーをはじめ39名(地区役員7名、顧問ロータリアン12名、学友3名、補欠を含む奨学生17名)参加の下に奨学金制度やロータリーについての全般的な理解を深めた。この会には相互連絡を密にするため顧問ロータリアンにも



出席をお願いしたが、最終オリエンテーションにも出席を要請して、準備の万全を期したい。第2回オリエンテーションは奨学生の留学指定校決定に合わせて2月14日開かれ、最近帰国の学友による留学報告と先輩学友による具体的なアドバイスが行われた。出席者21名（地区学友委員4名、学友5名、奨学生12名）

### 3. ロータリー財団月間等の学友卓話幹旋

11月の財団月間には17クラブより学友卓話依頼があったので最近帰国の学友を中心に幹旋した。なお、G.S.E.チームが西独より帰国直後であったが木村団長および団員2名に卓話をお願いした。また地区年次大会の部門別協議会で学友の帰国報告が行われた。

### 4. 4地区財団奨学金・学友委員長合同集会

10月20日、京阪神地域にある第264、265、266、268地域の関係者による標記会合が開かれ、各地区の現況と今後の問題について懇談した。

以上が現在までの主要活動の内容であるが、今後の予定としては奨学生の出発直前の最初オリエンテーションと学友懇親会、P.S.C.だより第6号発行への協力がある。

#### 《次年度委員長へ》

パストサービスクラブの育成強化が依然として課題であるが、学友懇談会にG.S.E.・O.B.の参加が少ないので、その点の検討も必要である。いずれにしても新委員長による活動の活性化を期待したい。

## ロータリーの友

地区委員 今井 悠紀 (大阪)

### I. 合同委員会

ロータリーの友委員会では、顧問、地区委員、常任委員会合同会議を隔月に開催しており、今年度は、7月・9月・11月・1月・3月に開催され、あと5月に開催される予定です。

### II. ロータリーの友への出稿

地区委員として、「マイタウン・マイディストリクト」・「地区のたより」のページの編集を担当しています。

(1) 地区のたより

1987年1月号



(2) マイ タウン・マイ ディストリクト 1987年2月号

### III. 地区からの投稿その他

編集部が取材した地区レベルの社会奉仕活動をはじめ、数多くの活動がロータリーの友に掲載されました。

## 地 区 年 次 大 会

委 員 長 名張 隆政 (吹 田)  
副 委 員 長 兼 福 田 耕 作 (吹 田)  
プログラム委員長  
幹 事 矢 橋 繁 雄 (吹 田)

ウィリアム B. ナイストロム R.I.理事夫妻を迎え、「希望と調和」を大会テーマとして、ホストクラブの総力を挙げ、コ・ホストクラブの協力を得て、企画、運営共に会員による手作り大会を標榜し、実現に努力した。

河合隼雄京大教授による基調講演「物と心の問題」の後、会員との対話の機会を設けた。

大会後、初めての試みとして、来日中の西独G.S.E.の歓迎を兼ね、ロータリー関係の青少年を一堂に集め、盛り上がった雰囲気の中に、大会のフィナーレを飾った。

本大会の登録状況は、会員の登録2511名、家族の登録129名、R.I.会長代理歓迎晚餐会登録273名、記念ゴルフ大会(茨木C.C.)登録184名(3月18日現在)。

第一日 4月11日(土) 千里阪急ホテル、第二日 4月12日(日) 吹田市文化会館に於いて挙行されたが、日程を追って、経過を振り返ってみると、次の通りである。

昭和61年

4月12日 次年度大会の指名を受ける。直ちに大会役員、実行委員会の組織と委員編成

8月14日 第一回大会役員会

9月27日 I.G.F.第7組にて報告と出席要請を行い、以後、翌年1月24日まで、8回に亘るI.G.F.総てに於いて、報告と要請を繰り返した。また、ガバナー月信毎号に「地区大会だより」を掲載し「ロータリーの友」にも大会紹介を行った。

10月4日 河合先生に基調講演を要請



10月15日 第一回プログラム委員会

11月下旬より大会登録申込み受付開始

11月26日 部門別協議会合同打合会議

12月2日 第二回部門別協議会打合わせ

昭和62年

1月14日 第一回決議委員会

1月末日 登録申込み締め切り

2月4日 第二回決議委員会

2月6日 信任状委員会

2月10日 第2部協議会リーダー会議

2月12日 第二回大会役員会

2月13日 第1部協議会マスター会議

2月24日 第一回表彰委員会

3月4日 河合先生と第二回打合わせ

3月10日 第二回表彰委員会

3月31日 登録委員会、第二回プログラム委員会

4月2日 第三回大会役員会

4月9日 大会記念ゴルフ大会

4月11日 大会第一日 開会式、会長幹事懇談会、部門別協議会、  
R.I.会長代理歓迎晩餐会

4月12日 大会第二日 本会議、国際青少年交流親睦パーティー

この間、10数回に及ぶ実行委員の打合せ会合を実施した。特に大会直前の3月に入るや毎クラブ例会後、委員会別打合わせを重ねて、準備の万全を期した。



# 地区財務委員会

財務委員長 金子 義高(吹 田)  
 前島 淳(大阪西)  
 竹内 貢(大阪東)  
 会 計 井上 陽二(吹 田)

## 国際ロータリー第266地区 収支報告書

自 昭和61年7月1日 至 昭和62年2月28日

### 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	2月収入額	累 計 額	予算過不足額
前 期 繰 越 金	19,000,000	0	27,017,756	8,017,756
R. I. 交 付 金	1,300,000	0	859,900	-441,100
地 区 資 金	66,750,000	2,332,500	67,079,000	329,000
雑 収 入	1,000,000	526,676	577,694	-422,306
合 計	(88,050,000)	( 2,859,176)	(95,533,350)	( 7,483,350)

### 支出の部

科 目	予 算 額	2月支出額	累 計 額	予算過不足額
委 員 会 活 動 費	(22,500,000)	( 267,789)	(11,974,732)	(10,525,268)
地区指名委員会	200,000	0	66,400	133,600
意義ある業績委員会	30,000	0	25,110	4,890
クラブ奉仕部門	200,000	12,700	154,125	45,875
広報雑誌委員会	450,000	0	409,636	40,364
規定情報委員会	670,000	0	199,620	470,380
職業奉仕部門	150,000	4,080	125,473	24,527
社会奉仕部門	400,000	0	167,503	232,497
青少年奉仕部門	1,800,000	0	397,260	1,402,740
インターアクト委員会	2,600,000	0	2,455,545	144,455
ロータリーアクト委員会	5,000,000	113,560	3,431,815	1,568,185
国際奉仕委員会	150,000	3,210	150,000	0
青少年交換委員会	150,000	6,725	297,118	52,882
米山奨学委員会	500,000	3,519	92,999	407,001
国際交流委員会	250,000	0	173,320	76,680
拡大部門	150,000	0	36,845	113,155
ロータリー財団部門	1,500,000	91,545	799,142	700,858
財団奨学委員会	7,000,000	32,450	2,611,296	4,388,704
財団増進委員会	250,000	0	194,925	55,075
財団学友委員会	350,000	0	186,600	163,400
委員会活動予備費	500,000	0	0	500,000
会 議 費	( 6,950,000)	( 491,900)	( 4,025,025)	( 2,924,975)
地区大会補助	300,000	0	0	300,000
地区協議会補助	300,000	0	0	300,000
地区委員会	2,500,000	165,000	2,143,855	356,145
ガバナー打合せ会議費	1,300,000	326,900	1,081,170	218,830
R.I.会長代理記念品代	150,000	0	0	150,000
同上 歓迎会	350,000	0	0	350,000
直前ガバナー記念品代	250,000	0	0	250,000
G.N.国際会議参加補助	800,000	0	800,000	0
子 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000
日本国内国際ロータリー地区ガバナー連絡会議	( 890,000)	( 446,100)	( 888,600)	( 1,400)
ロータリー文庫協力費 200円×4,450名	( 890,000)	( 446,100)	( 888,600)	( 1,400)
地区大会分担金3,500円×4,450名	(15,575,000)	( 5,000,000)	( 8,116,000)	( 7,459,000)
ガバナー月信印刷費	( 8,300,000)	( 0)	( 4,715,610)	( 3,584,390)
製版印刷送料ホルダー	8,000,000	0	4,715,610	3,284,390
子 備 費	300,000	0	0	300,000
事 務 所 経 費	(21,890,000)	( 863,507)	(13,536,467)	( 8,353,533)
賃 金 給 料	8,730,000	278,760	6,013,555	2,716,445
賃 借 料 光 熱 費	3,770,000	257,341	2,555,771	1,214,229
ガバナー交通費	1,190,000	0	770,000	420,000
印 刷 費	1,500,000	81,416	746,461	753,539
交 通 信 費	2,500,000	117,310	1,227,182	1,272,818
文 献 費	150,000	0	62,940	87,060
消 耗 品 費	1,500,000	4,980	307,835	1,192,165
什 器 備 品 費	550,000	0	381,400	168,600
雑 費	1,500,000	123,700	1,471,323	28,677
子 備 費	500,000	0	0	500,000
合 計	(76,995,000)	( 7,515,396)	(44,145,034)	(32,849,966)

財産目録	小口現金	61,704	定期預金	44,000,000	仮受金	91,300
	普通預金	3,960,001	前渡金	3,000,000		
	普通預金	7,440	仮払金	450,471	差引正味財産	51,388,316



**国際ロータリー第266地区  
特 別 会 計**

自 昭和61年7月1日  
至 昭和62年2月28日

1. 青少年ファンド 会員1人2,000円(年2回)拠出による分

(単位:円)

科 目		金 額	摘 要
前期繰越金		11,377,293	
前月迄収入累計額		7,313,156	
収 入	当月収入	地区収入	1,578,000 各R.C.より後期分入金
		雑収入	3,961 預金利子
		合 計	1,581,961
前月迄支出累計額		6,055,117	
支 出	当月支出	来日学生ホームステイ費補助	2,500,000 1人25万円 世話クラブへ
		来日学生パーティ費補助	127,420 大成閣へ
		諸 費 用	8,600 ロータリーの友英語版 送金料
		合 計	2,636,020
差引当月末残高		11,581,273	定期預金8,000,000円 普通預金3,581,273円

2. 世界社会奉仕ファンド 会員1人3,000円(年1回)拠出による分

科 目		金 額	摘 要
前期繰越金		9,717,778	
前月迄収入累計額		8,679,212	
収 入	当月収入	地区収入	0
		雑収入	3,931 預金利子
		合 計	3,931
前月迄支出累計額		95,371	
支 出	当月支出	会 合 費	3,850
		合 計	3,850
		差引当月末残高	18,301,700

3. 社会奉仕委員会身障児等招待費

科 目		金 額	摘 要
前期繰越金		142,986	
前月迄収入累計額		5,697,722	
収 入	当月収入	地区収入	0
		雑収入	2,753 預金利子
		合 計	2,753
前月迄支出累計額		4,930,728	
支 出	当月支出	白 浜 名 札 他	24,200
		白 浜 写 真 代	60,400
		白 浜 反 省 会 他	148,515
		合 計	233,115
差引当月末残高		679,618	普通預金601,308円 78,310円







「奉仕の理想」

作詞・元京都RC 前田 源一郎  
作曲・元東京RC 萩原 英一

奉仕の理想に 集いし友よ  
御国に捧げん 我等の業い  
望むは世界の 久遠の平和  
めぐる歯車 いや輝きて  
永久に栄えよ 我等のロータリー  
ロータリー

「手に手つないで」

作詞・東京RC 矢野 一郎  
作曲

手に手つないで つくる友の輪  
輪に輪つないで つくる友垣  
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ 一つ心に  
おお ロータリアン おお ロータリアン  
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ 世界と共に  
おお ロータリアン おお ロータリアン



